

ウィズコロナのいまとこれから 進めよう! 新北海道スタイル

新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け、「新北海道スタイル」の実践など、道民の皆さんにご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。感染症に強い北海道をつくるため、改めて「いまできること」そして「これからに向けた取り組み」へのご協力をお願いいたします。



特集 ウィズコロナのいまとこれから

●生命と暮らしを守るために ●社会経済活動を維持するために

■新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策【第5弾】

■赤れんがニュース ■道議会レポート ■おいしい道産品プレゼント



ライフスタイルやビジネススタイルを変革することにより、北海道全体で感染リスクを低減させ、事業継続やビジネスチャンス拡大につなげていく。それが「新北海道スタイル」です。



STV 2020年10月10日(土)午前9時25分-(予定)
北海道広報番組「知るほど!なるほど!北海道」
広報番組では、新型コロナウイルス対策の取り組みに関する最新情報をお届けします。ぜひご覧ください。

道民の皆さんへ「新北海道スタイルプラス2」の実践をお願いします

いまは、きよりととって

手を洗おう

咳エチケット

換気をしよう

3つの「密」を避けよう

テイクアウトやデリバリーも

オンラインを上手に使おう

いまは、小声で

事業者の皆さんへ「7つのポイントプラス1」の取り組みをお願いします

マスク着用・手洗いを徹底します

健康管理を徹底します

こまめに換気します

消毒・洗浄します

一定の距離をとっています

お客様へ咳エチケット・手洗いをお願いします

取組をお知らせします

北海道コロナ通知システムと接觸確認アプリ(COCOA)を活用しよう

生命と暮らしを守るために

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、さまざまな分野で取り組みが進められています。

道内の医療・介護の現場から、私たちが知つておくべき点などについてお話をうかがいました。

社会経済活動を維持するために

感染リスクを低減させながら、民間の皆さまの事業の継続やビジネスチャンスの拡大につなげます。

社会経済活動を支える道の取り組みを紹介します。

食と観光を地域で応援しよう

コロナ禍に伴い、道内の食と観光は大きな影響を受けています。皆さん自身の地域の中で、地元の食を活用したり、観光を楽しんだりするなど積極的な応援をお願いします。

地域の取り組み(胆振総合振興局の事例)

学校給食で道産牛丼を応援!



（室蘭市立和洋東小学校）

道では行っている道産牛肉を学校給食に提供する事業には、道内の給食を実施するすべての中学校等（約1,700校・41万人）が参加しており、胆振管内でもこの事業を活用して地元産の牛肉を使い、工夫を凝らした献立を提供しています。

学校では、日頃から地元食材の活用による食育活動を実践していますが、普段自ら買えない牛丼のメニューは、子どもたちからの評判も上々です。

▶道庁畜産振興課 TEL:011-204-5438

ふるさと魅力再発見! キャンペーン



白石市にあるワボワモスポットの一つ（本画像はイメージです）。

「ふるさと魅力再発見! キャンペーン」は、お住まいの地域を巡るモバイルスタンプラリーのほか、再発見した道内の魅力の写真などをSNSに投稿して楽しむキャンペーンで、抽選で地元の特産品などが当たります。

胆振管内では23カ所の地元スポットが設定されており、7月12日に白石町にオープンした「ワボワ（民族共生象徴空間）」もその一つです。この機会にぜひ訪れてみてください。

▶ふるさと魅力再発見! キャンペーン事務局 TEL:011-768-8632 [ふるさと魅力再発見] 検索

どうみん割+(ぶらす)



国のGOTOトラベル（2021年1月まで）が終了した後の観光需要を盛り上げるため、2021年2月（予定）から、道民の道内旅行に対する「どうみん割+(ぶらす)」を実施します。なお、離島への旅行については、割引率は10%プラスする「りとう+(ぶらす)」をこの秋から実施します。

▶どうみん割事務局 TEL:011-208-7002 [どうみん割] 検索

新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策【第5弾】

●推進中の緊急対策（第1弾～第4弾）と連動しながら、引き続き、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け、総合的な対策を実施します。

●発熱患者の増加や消費の落ち込みなど、秋冬に懸念される事態も想定した対策を推進します。

「新北海道スタイル」の浸透・定着

道民生活や事業活動のさまざまな場面で「新北海道スタイル」を浸透・定着させていくための取り組みを強力に展開します。

▶個別訪問を通じた事業者への働きかけなどによる取組み・施設の拡大
▶感染症対策の事例の取り上げ・情報発信
▶「北海道コロナ通知システム」の普及

経済活動の継続と段階的拡大

徹底した感染拡大防止対策を進めながら、社会経済活動の継続と段階的な拡大を図っていきます。

▶新型コロナウイルス感染症対応資金（3年間無利子・保証料無料）の融資枠拡大（1兆円）1.5兆円
▶離職者の雇業権への転職支援（離職者、受け入れ企業への支援金支給）
▶テレワークを導入する企業に対する機器整備の支援
▶冬季における道内旅行商品割引「どうみん割+(ぶらす)」の実施
▶離職を余儀なくされた非正規労働者などの再就職支援

広がっています！ 新北海道スタイル

●すすきの地区も取り組んでいます！ 新北海道スタイルモデルアクション

道では、8、9月を「新北海道スタイル集中対策期間」と位置づけ、事業者の方々と道民の皆さんに、改めて、感染拡大防止の取り組みをお願いしました。

その一環として、すすきの地区（札幌市）の接待を伴う飲食店500店以上を訪問、その他の地域では道と商工会・商工会議所との連携による訪問を行い、感染拡大防止に向けた働きかけを直接実施しました。

また、すすきの地区（札幌市）の接待を伴う飲食店等について、専門家をえた選考により、「新北海道スタイルモデルアクション」として、接待を伴う飲食店3店舗、アートビル2施設を選定しました。

▶道庁新型コロナウイルス感染症対策本部 TEL:011-206-0289

[新北海道スタイルモデルアクション] 検索

●ご活用ください！ 飲食店向け解説動画

道では、飲食店向けの感染症対策ガイドを解説し、感染症対策の解説動画と、店舗で使える掲示ラストを公開しています。

新型コロナウイルス感染症の基本的な情報をついて対談形式で解説しているほか、レストラン編、居酒屋編など業種ごとに8種類の取り組み事例を紹介しています。ぜひご活用ください。

▶道庁食農連携室 TEL:011-204-5312

[飲食店でお客様を迎えるために] 検索

利用者も事業者も安心！ 北海道コロナ通知システム

利用者の皆さんは、感染者と接触した可能性をメールで知ることができます。そのため、大切な人についてしまうことを予防したり、体調の変化に早めに気づくことで、検査の受診など保健所へのサポートを早く受けたりすることができます。

事業者の皆さんは、店舗や利用者はお知らせメールに記載されないので、安心して利用ができることができ、感染拡大防止に積極的な店としてPRしていただけます。

また、国のお接続確認アプリ（COCOA）も併せて活用をお願いします。QRコードは、（株）デンソーウエーブの登録商標です。

▶道庁新型コロナウイルス感染症対策本部 TEL:011-206-0289

[北海道コロナ通知システム] 検索

介護



社会福祉法人札幌慈恵会
事務理事
慈恵会特別養護老人ホーム
総合部設置長
加藤 敏彦さん

医療



札幌医科大学医学部
感染制御・
臨床検査医学講座
教授 高橋聰さん

「明日はわが身」の心構えで 新北海道スタイルを実践しましょう。

大切なご家族のために、まず自分の健康を守ることが大切です。

介護の現場では、外から「イルミネーション」を呼ぶほどないことを第一に、徹底的に感染症対策を行っています。そのため、今月末までの間、介護施設は、入浴者とご家族の面会を止め、取り組みのモデルとなる店舗等について、専門家をえた選考により、「新北海道スタイルモデルアクション」として、接待を伴う飲食店3店舗、アートビル2施設を選定しました。

▶道庁新型コロナウイルス感染症対策本部 TEL:011-206-0289

[新北海道スタイルモデルアクション] 検索

道民の皆さまへのお願い

- 体調が悪い場合には、出かけない
- 出かけるときは、マスク着用と手洗いを徹底
- 「感染しているかも」との思いを持つて
(若い世代の皆さんには、代わりに比較的多く、白髪がない場合もあります)
- いわれのない差別・偏見をやめ、冷静な行動を

（感染リスクの高い行動の例）

- 距離の取れない場所や換気の悪い場所での会食
- マスクを外した会話（特に食事中）
- 高齢者や既往歴のある方との接触では特に注意

今後の感染拡大に備えた道の取り組み

- 安心して必要な医療を受けるために

秋冬の季節性インフルエンザの流行も見据え、地域における多くの医療機関で発熱患者の診療、検査等ができる体制を整備します。

●在宅でも安心して介護するため

在宅での介護を担当する家族等が新型コロナウイルスに感染した際に、医療機関へ発熱患者の診療、検査等ができる体制を整備します。

健康相談センターを開設しました

感染症に関する從来の一級相談窓口と帰国者・接触者相談センターは、窓口を新設して業務を一本化しました。お気軽にお利用ください。

名 称	北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター
業務内容	・感染症に関する一般相談 ・発熱等の症状のある方からの相談対応 ・来道者・帰省者・転勤者への相談対応
電話番号	0800-222-0018(24時間対応・フリーコール)

※札幌市、函館市、旭川市、小樽市に住む方は、各保健所にてご相談ください。

このほか、コロナ禍に伴う悩みやストレスを抱える子どもへのケアも課題となっていることから、道教育委員会では、学校へのスクールカウンセラーやセラピストのほか、子ども相談支援センターを開設し、子どもたちの不快や悩みに応じて過ごすことです。食欲がない、眠れないなどお子さんに「心や体のサイン」がみられる場合には、早めに学校に相談いただくとともに、子どもたちには一人で悩まないで24時間対応の相談支援センターへ電話することをお話ししてみてください。

また、臨時休業により学習の遅れが生じないよう、休業中はICT（情報通信技術）を効果的に活用し、学習教材などを提供したり、運動・食事・睡眠しっかりバランスのとれた生活を心がけよう

教育

コロナ禍でも学びをとめない！ 学校での取り組み

道内の多くの学校は、新型コロナウイルス感染症対策として2月末から3月末までの長期間、臨時休業となりました。休業後、子どもたちは手洗いやマスクの着用、教室などの換気、消毒・清掃、身体的距離の確保など学校の新しい生活様式を徹底し、感染予防に努めています。

また、臨時休業により学習の遅れが生じないよう、休業中はICT（情報通信技術）を効果的に活用し、学習教材などを提供したり、運動・食事・睡眠しっかりバランスのとれた生活を心がけよう

ラビット・ユキネと一緒に、「学校の新しい生活様式」をはじめよう！





赤れんがニュース

道庁からのお知らせなどをお伝えします。
詳しくは、各ウェブサイトでご確認ください。



10月は残さず食べかる 「食品ロス削減月間」です

まだ食べられる食品を捨てる「食品ロス」は、日本では年間612万トン(2017年度、国による推計)も発生しています。その約半分が一般家庭から出ています。

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。買い物前の冷蔵庫の確認、残った料理のリメイク、野菜の皮や茎の有効活用、賞味期限を正しく理解するなど、家庭でできる食品ロスの削減を取り組んでみませんか。

食品ロス削減啓発キャラクター
大地くんとめぐみちゃん

どさんこ 食べきり 検索
▶道府食品政策課
TEL.011-204-5427



道立北の森づくり専門学院 学生(推薦・一般)募集中!

林業・木材産業の競争力となる人材を育成するために4月に開校した「北の森づくり専門学院」。現在、推薦および一般入学者を希望する学生を募集中です。経験の有無を問わず、意欲にあふれる皆さんの応募をお待ちしています。

Hokkaido College of Northern Forestry
北海道立北の森づくり専門学院

試験区分・会場	推薦入学試験 旭川・札幌・帯広・ 東京	第1回一般入学試験 旭川・札幌・帯広・ 東京・福岡
出願期間	10月1日(木) ~15日(木)	10月12日(月) ~29日(木)
試験日	10月26日(月)	11月16日(月)
試験科目	面接	小論文・面接

北森カレッジ 検索
▶北の森づくり専門学院教務課
TEL.0166-75-6163



「まさか」は必ずやってくる ～あなたの防災意識は大丈夫?～

地震や大雨、火山噴火などの自然災害が起きたとき、自宅の災害リスクを知った上で、どんな避難行動を取ればいいのか、平時に確認しておきましょう。

①自宅がある場所をハザードマップで確認

ハザードマップで自宅がある場所を確認し、そこに色が塗られている場合は、災害の危険があります。原則として、自宅の外に避難する必要があるので、安全な場所に住んでいる親戚や知人に日頃から相談しておきましょう。

③土砂災害警戒区域もチェック!

道では、土砂災害のおそれのある区域などを「北海道土砂災害警戒情報システム」で公表しています。避難場所や避難経路の参考にしてください。

②警戒レベル3や4が出たときの避難場所は?

「警戒レベル3(高齢者など避難に時間をする人は避難)」や「警戒レベル4(安全な場所へ全員避難)」が発令されたら、危険な地域にお住まいの方は、安全な親戚・知人宅もしくは市町村が指定している「指定緊急避難場所」に避難しましょう。

ハザードマップポータルサイト 検索

▶道府危機対策課
TEL.011-204-5008

北海道土砂災害警戒情報システム 検索

▶道府河川砂防課
TEL.011-204-5560



道議会レポート

定例会の概要などをお伝えします。
令和2年第2回定例会(6/16~7/3)

定例会の概要

知事から令和2年度補正予算等の議案32件が提案され、予算案4件、条例案11件、その他の案件7件を原案可決、人事案件1件を同意議決、知事の専決処分に係る報告1件を承認議決しました。報告のみの案件は8件でした。また、議員や委員会から提出された条例案2件、意見案8件を原案可決しました。

本会議や予算特別委員会の主な議論

- 津波や地震などの自然災害と、感染症拡大との複合災害が同時に発生した場合に備え、医療体制の確保、緊急対応にどのように取り組む考え方。
- JR北海道が経営危機を招いている状況において、持続的な鉄道網の確立に向け、今後どのように取り組む考え方。
- 新型コロナウイルスとの闘いが長期戦になることを覚悟する時代において、ICTの一層の活用が必要となる時代背景の下、光

ファイバーの整備、ソサエティ5.0構想の実現、GIGAスクール構想の実現に、今後どのように取り組む考え方。

- 感染症拡大のために中止となつた各種スポーツ大会の代替大会開催など、選手の活動機会、集大成の場を確保することについて、今後どのように取り組む考えか。

主な議決の状況

◎知事提出案件

- 予算案4件
令和2年度北海道一般会計補正予算 など

◎議員提出案件

- 条例案2件
 - ・北海道議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案
 - ・北海道花きの振興に関する条例案
- 意見案8件
新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書 など

議会庁舎が新しくなりました



去る5月25日に新庁舎に移転し、今定例会は、新議場における初の会議となりました。

次回定例会のお知らせ

令和2年第4回定例会は11月下旬に開会の予定です。議会中継はスマートフォンでもご覧いただけます。

ウェブサイトをご覧ください

議会中継・録画、議会の日程、会議録、傍聴、見学案内、議会時報などをご覧いただけます。
質問などの詳細は、冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。各振興局等での閲覧のほか希望者への配布もしますので、下記電話番号までご連絡ください。

北海道議会 検索

▶議会事務局政策調査課
TEL.011-204-5691



おいしい道産品 プレゼント



北菓楼の
「北海道開拓おかき 枝幸帆立」
をプレゼント!

応募期限
11月16日(月)必着

応募方法
本紙へのご意見・ご感想(今回の掲載内容について)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先
〒060-8588(住所不要)
北海道広報広聴課「広報紙11月号
おいしい道産品プレゼント」係
広報紙はっかいどう 検索



掲載記事の関連ページ、広報紙のパックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。※8月号のプレゼントには、3,450件の応募をいただきました。



みんなの文字

令和2年7月末 北海道の総人口	男	女
5,242,965人(前年同月より35,664減)	2,477,534人	2,765,431人

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号の
お知らせ
1月号は12月中旬に
配布開始の予定です。

発行／北海道総合政策部知事室広報広聴課
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796

広告